



井上さちこ通信



みなさまと一緒に歩みます 令和3年(2021年)

井上さちこ応援団 : 廿日市市福面 3-14-14
Eメール : luckey@network.email.ne.jp HP : <http://www.inoue-sachiko.com/>

新しい生活様式を取り入れ、人との絆を大切に、暮らしたいと思っています。



世界遺産の玄関口にターミナルとマーケット完成！

2005(平成 17)年廿日市市議初当選の時から宮島口の「港湾指定」と「新宮島口棧橋の建設」を一般質問で訴えて参りました。2020(令和2)年 2 月 29 日、ターミナルがオープンしました。現大野第一区区長の青柳康夫さんのデザイン画をもとに質問し、特に市に提言したのは、物産館をつくり吉和・佐伯・廿日市・大野全域の特産品を販売できる場づくりと、宮島を眺めながら歩ける港まわりの遊歩道の敷設です。市民も「この港を楽しむ」ための提言でした。現在「はつこいマーケット」として開店し様々な地域の物産が販売されています。

宮島訪問税

市は、10 数年にわたって観光客の訪問による行政需要(ゴミ処理、トイレ使用による公共下水、水道水の使用量など)の増に対する協力金などをいただくことはできないかを検討してきました。当初「入島税 1 回 100 円」の考え方で進めましたが、宮島町住民からも「税」をいただくということで理解が得られませんでした。

代替案として「宮島への訪問者」から 1 回 100 円の税をいただくという考え方を取り入れることとしました。

井上さちこは、宮島町職員時代に、宮島には老人ホームがないので介護のために子どもが親の面倒をみるために毎日のように通っている姿を見ていました。そこで、宮島でのボランティア活動で島に通う人たちも含めて、何らかの措置をと提言し、現在、年間パスポート方式で「500 円」の税をいただくという予定で進んでいます。



広島県の HP から

令和2年3月
供用開始後

2025 問題、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となります！

在宅を支えるホームヘルパー制度の 充実を目指します。



超高齢化社会が進み、公的な老人ホームには入れない状況が続くと予測されます。施設ではなく在宅で暮らすには、介護保険法に縛られたヘルパー制度ではなく、もっと家族的なヘルパー制度が求められます。一緒に買い物に行けたり会話を楽しめたり、市独自のヘルパー制度の充実を図るため提言して参ります。

はつかいち図書館で借りた本を、

近くの市民センターでも返せるようにしました！



予算委員会などで、図書館のない吉和、宮島地域での本の返却の利便性を訴えて参りました。その結果、2020(令和2)年11月1日から移動図書館車の巡回先の市民センター、支所(四季が丘・宮園・原・大野東・吉和市民センター、宮島支所)で、巡回日時以外に「廿日市市の図書館(はつかいち市民図書館、はつかいち市民大野図書館、はつかいち市民さいき図書館、移動図書館車たんぽぽ号)」の本の返却と予約本の受け渡しが可能になりました。

過疎地域や中山間地域のガソリンスタンド問題に取り組んでいます。

2030(令和12)年を目指して電気自動車への切り替えが進む今、農業機械用のガソリンや暖房用の灯油など、車の用途以外の需要が多いのが地域のガソリンスタンドです。吉和と宮島でも1軒になりました。佐伯、大野地域でもガソリンスタンドが減っています。ガソリンスタンドは個人の店の問題ではなく、地域の暮らしを支えるところという意識を市役所が持つように、先進地事例を提言しています。



佐伯高校存続をいち早く一般質問しました。本市には佐伯国際アーチェリーランド、MRC 乗馬クラブ、乗馬クラブ吉和といった県内でも有数のクラブがあります。これらのクラブを観光資源として活かしつつ、また佐伯高校をスポーツ教育を主流とする特色ある高校とすることや 農業高校の要素も取り入れるなどすれば、高校存続の可能性は大きく広がると考えています。

2009(平成21)年3月に大型団地の浄化槽を、公共下水道に繋ぎ込むよう一般質問し、実現しました！

誰もが安心して、妊娠・出産・子育てができるよう、身近な場所で見守り、サポートする体制(ネウボラ)の取入れについて、いち早く一般質問し、実現しました！

2019(令和元)年、廿日市市手話言語の普及および多様なコミュニケーション手段の利用促進によるやさしいまちづくり条例の制定に、市民と共に取り組みました！

フリースクールの支援を教育委員会に提言しています。

井上さちこは、いのちをまもる政治に取り組みます。